

科名 血液内科
 対象疾患名 高リスク急性骨髄性白血病
 プロトコール名 ビキセオス 地固め療法

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	3	35
1	CV	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ	↓		↓			
2	CV	側管	グラニセトロンバッグ アロカリス	1mg 235mg	30分かけて	↓					
3	CV	側管	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて			↓			
4	CV	側管	ビキセオス 注射用水 生理食塩液	65U/m2 19mL 500mL	90分かけて 壊死性抗がん剤	↓		↓			

★1クール＝35日間

～MEMO～

催吐リスク3(30%以上90%未満)

・地固め療法

本剤65ユニット(ダウノルビン/シタラビンとして29mg/65mg)/m2(体表面積)を1日、1回、90分かけて、最大2サイクルまで投与する。
 最後の寛解導入療法開始から5-8週間後に、1サイクル目として本剤を1.3日目に点滴静注する。
 1サイクル目の投与開始後に病態が進行していない患者で、本剤への忍容性が良好な場合、1サイクル目の地固め療法開始から5-8週間後に、2サイクル目として本剤を1.3日目に点滴静注する。

・必要量(mL)=ダウノルビシンの投与量(mg/m2)×患者体表面積(m2)÷2.2(mg/mL)

・地固め療法＜実施基準＞

- 寛解に到達した患者
- ECOG PS:0-2
- 左室駆出率(LVEF)≥50%
- 好中球>500/ μ L
- 血小板数>50,000/ μ L

・希釈後、直ちに投与を開始すること。直ちに投与を開始しない場合は、2-8℃で保存し、希釈後4時間以内に投与を開始すること。もし、溶解液を希釈前に4時間保存した場合、希釈後さらに4時間保存することはできず、直ちに投与を開始すること。